

一般質問



・ 一体庁舎整備と角館方
庁舎移転の今後の
針について

仁政クラブ 高橋 豪 議員



今後の方針を問われている角館庁舎

質問 一体庁舎整備と角館庁舎移転の今後について

答弁 耐震調査の結果を踏まえ、危険箇所があれば今後どのような対応をするのか。

質問 調査報告書には施設が否か、補強が必要であればどのような補強が必要であるか等の判定結果が示される事になっている。この判定結果に基づき、市民の安全を第一に考え、耐震補強に要する費用、補強した場合、機能が損われ市民サービスが低下しな

いか等々を考慮し、必要な対策を講ずる予定である。

質問 市政報告で角館庁舎の一部に危険箇所があるという報告があったが、その上で今後も角館庁舎のみを最初に移転する考えはあるのか。

答弁 仮に調査結果が緊急な対応を要するということであれば、補強工事や角館庁舎のみを先行して移転する事も考えなければならぬ。ただし、移転や一部機能の移転については一体型庁舎の整備と関連する事業であり、議会とも十分な協議をさせて頂きたい。

質問 一体型庁舎については、平成26年度中に庁舎整備基本構想を作成するところがあるが、今後はどのような手順で進めるのか。また、いつ

までに完成させるのか。

答弁 これまでの議会や市民からの意見等を十分吟味し、市民が庁舎に何を求めているか等、熟慮した上で市長案として最良の庁舎整備基本構想案を作成したい。

これを議会に示し、協議を頂く事とあわせ、市民からの意見聴取、説明会の開催、パブリックコメント等の実施を考えている。

基本構想は、平成26年度に構想を固め、所要経費を27年度予算に反映させる事がより良い方法だと考えている。

質問 以前の一般質問では、一体型庁舎については、中心市街地への設置は難しい旨の答弁であったが、これについては現在も変わらないのか。

答弁 様々な観点から、中心市街地への一体型庁舎の整備は物理的に困難と考えている。

質問 郊外に設置する場合のメリット・デメリットをどう捉えているのか。

答弁 ①整備面積などの庁舎配置等への制約が少ない。
②用地等が市街地と比べ価格が安い。
③庁舎周辺に新たなまちづくりが可能ではという点。デメリットは

①交通手段等で不便な点。
②市街地の衰退。
③他の公共施設と距離が遠くなり不便をかける点。

質問 一体型庁舎整備についての市長自身の考え方はまとまっているのか。

答弁 4月から庁舎整備推進係を設け、この係と短期的ではあるが集中的に議論をしていきたい。

質問 若者・子育て支援と高齢者にやさしいまちづくりについて

質問 門脇市政2期目の若者・子育て支援策は。

答弁 子ども達にだけ大人としての責任を果たす事ができるかが今任期の大きな仕事のひとつと考えている。職場、働く場所の確保に一生懸命取り組んでいきたい。また、子育て支援についても、現在、民間企業との連携の中でメニュー作成を進めている。どこよりも子育てがしやすい自治体を目指し、内容・実態とも多彩なメニューを持ちたい。

質問 高齢者に優しいまちづくりをするための高齢者支援策は。

答弁 高齢者に対する支援に対してまちづくりの参画の機会と捉える事ができる。自助・共助・公助の考え方のもと、市民と共に考え協働事業と適切な支援策を進め、やさしいまちづくりを着実に進めていきたい。

市名変更について

質問 平成22年の一般質問で、市名変更によるイメージアップと経済効果は非常に大きなものがあると考え、知名度復活のため市名変更を求めた。このままでは、永年にわたり積み上げられて来た地域全体の歴史的ブランドそのものが人々の記憶から忘れさられる可能性も否定できな。こうした危機感を感じ、改めて市名の変更について伺う。

答弁 市名変更への市民の機運の高まり、盛り上がりを感じる事ができない状況にある。来年度は、一体型庁舎の議論を進めなければならない年であり、市名変更の議論をする必要性を見出す事ができない。

(田口寿宜記)

一般質問

・木質バイオマス発電の現状について



民政会議 安藤 武 議員

木質バイオマス発電の現状について伺う

質問

本事業について、今思い出されるのは、平成21年当時、私は、所管の産業建設常任委員長として、白熱した議論の中で意見をとりまとめた。委員会としては、他社との比較検討が出来ない。市民への説明が出来ない。時期尚早である！

これ等の事から、本委員会としては、反対の意見とした。しかし、本会議で採決の結果、賛成多数、原案を可とし、バ

イオマス事業がスタートしたのである。その起工式で議長代理として、挨拶に行った私は、「本バイオマス発電事業は、時間をかけて慎重に審査してきた。事業の先駆者として、仙北市民に又、日本に誇れる発電施設にしてほしい」と申し上げた。しかし度重なる稼働不良に陥り、昨年、月島機械自らの責任として大改修工事を行った。にもかかわらず、一向に改善はみられない。当局では、続行か否かを判断するために、検証委員会を立ち上げたが、現時点での推進状況を伺う。

答弁

当時の議会でも進むか否かの議論があった。事を、私は、議事録を見て知るしかなかった身分であった。当時から、その議論はまさしく、今の状況になる事を、予想されている議論の様子が伺える。議会としてその先見のすばらしさも感じている。また、今日本国内でこれ以上の方はおらないと言う最高権威者お三方に承諾いただいていた作業を進めている。

さらに、国、県からも実力を備えた方々に加わっていた。3月15日を目途に、私宛にその検証結果の報告書が届く手はずになってい

る。事業を継続か廃止か判断するに至る重要な報告書となる。

質問

本事業の継続が、是るか否かどちらにしる、新年度予算にもりこまれ予算執行していく事になる。それにして、報告書の取りまとめが、3月15日では、私共、議会に与えられた議論する時間が少なすぎて遅きに失したと思わざるを得ない。

答弁

この点に対しては、おっしゃる通りで議会の皆様に申し訳ないと思っているが、先生方のスケジュールが噛み合わない等諸々の事情が重なり今日に至ってしまった。しかし、先生方は、日本のエネルギー再生という大きな視点の中で議論し、深く検証をいただいている点も、ご理解いただきたい。

質問

検証委員会の検査結果がここまで遅れたその原因は、何処にあるのか、トラブルの原因を調べ切れていないためと私には思えるが...

答弁

非常に科学的な質問と受け止めたが、検証段階での先生方のお話では、ガス化炉内の温度が設定値に達していないことが、ト

ラブルの原因ではないか、と問題提起があった。

現在、ガス分析によるガス化炉内の温度測定をし、数値を精査している状況にある。そのデータを元に、対応、対策についての考え方も、定まってくる物と考えている。

質問

仙北市の山からの素材を用いるとしながら、共用するチップ材は一時的と思えるが、市外産を使っていると、確かな筋から聞いているが...

答弁

仙北市産でないとするれば、事業目的に反する行為となり、問題は大きいわけであるが、調査したところ、原木は、仙北市産が使われていることに間違いはない。木材をチップにする際、一時的に市外業者から、納入になったと言うことであるので、どうか誤解をといいた

質問

いずれ前に行くために審査委員会の方々と深く話し合いをもっていきたいと思っ

質問

今、成功しているのは「ガスによる蒸気で、タービンを回す」それ以外の成功例はない。能代にしる若松にし

る、この型で成功している。多量の木材を使用するし、廃材利用も出来る。地域住民にも、大変よろこばれている方式だ。我が市では、今更という事になるが。このトラブル続きの現状を、農水省や県では知っているのか。田邊副市長に伺いたい。

答弁

(副市長) 秋田杉木質バイオエネルギーの稼働状況については、国、県、地元出身の国会議員の先生にもお伝えしている。悪しき状況を打破する為の、全国から選びぬかれた、先生方で組織された検証委員会であり、県や市からもオブザーバーとして、会議に出席している所でもあり、内容についても十分伝えている。

(伊藤邦彦記)



本格的稼働が待たれる木質バイオ発電施設

一般質問

・武蔵野中央地区公共 用地の活用について

翠巒会 田口喜義 議員



武蔵野中央地区公共 用地の活用について

質問 ①武蔵野中央地区Cゾーン（市立多目的広場）の総合体育館・生涯学習センター整備構想の具体化は。

②老朽化による早期改修が必要とされる生保内体育館のマスタープランに沿った教育委員会の今後の進め方を伺う。

答弁 ①種苗交換会で活用し、今年度は田沢湖マラソン、国民文化祭で使いたい。平成28年3月までの次期総合計画に、総合体育館建設

の財源・管理手法等を検討し位置づけたい。

②（教育委員長）体育館の玄関部分の雨漏り工事と本体の屋根の修理も昨年行った。総合体育館は市の総合計画とリンクして考えていきたい。

仙北市の医療と市立角館病院建設について

質問 ①2つの市立病院を本院と分院とし、連携

してお互いの役割を果たすとした計画の現状について伺う。

②「医療局としての機能は全く果たされていない」との特別委員会報告に対する市長の見解を伺う。

③市長は施政報告で「医師招聘活動は着実に成果を上げていく」と述べた一方で、就任時に「早ければ2年以内に道筋をつけたい」とした田沢湖病院の救急再開を一次救急だけでも再開できないか。

④仙北組合総合病院との新たな連携について伺う。

答弁 ①病院等改革推進計画であったが、今は病院の設置場所が2箇所に分かれていてイメージで、本院・分院という考えはない。

②医療局主導による医療体系の確立はなされていないとい

う認識である。しかし、医薬材料・消耗品の一括購入、委託業務の一元化等の事務的成果は上がっている。

③就任から4年半だが、市政公約である田沢湖病院の救急再開にはめどがつかない状況で申し訳ない。一次救急による対応が市民ニーズに應えるものか十分な検討を要すると考えている。

④大曲仙北地域医療ネットワーク事業がスタートしており、参加医療機関やかかりつけ医での診療を受けられるようになるので連携を図っていく。

市立角館総合病院の 建設費について

質問 ①用地取得総額②病院

本体の建設費③外構工事費④医療機器導入費⑤病院に関するインフラ整備費⑥27年に1億円、28年3億、29年2億2千万円の赤字の収支計画への対策は。

56億円から73億6千万円と建設費の大幅な増額となった原因について伺う。

答弁 ①から④までは前の特別委員会資料と同じである。⑤上水道や高圧電力等で3百万円程度と思う。⑥市で運営している場合は、

市民・活用される方の収益で運営をし、赤字が拡大する場合は、一般会計から医療に繰り出ししていく考えである。

労務単価、建設資材等の高騰、消費税の引き上げが原因であり、基本的な設計自体の変更が原因ではない。

自然災害に備えた危機管理と地域防災について

質問 ①集落別の危険箇所説

明会で、避難場所や避難経路についても説明されたのか。

②消防団の課題及び災害時の出動について。

③防災無線の活用については一定のルールに基づいて行っているのか。

答弁 ①避難場所・避難経路については説明している。市からの情報が集落へきちんと伝わる事で迅速・円滑な避難行動へつながると思う。

②団員の確保が課題である。定員767人に対し団員数は603人（充足率78.6%）である。社会情勢が変わった事が要因と思う。災害時の出動は、災害救助捜索・災害復旧活動で述べ571人、水防活動で述べ302人、火災消

化活動で述べ372人の出動

状況である（2月1日現在）

③防災無線情報の発信の仕方、内容等については検討中である。

仙北市温泉事業の現状と安定供給について

質問 ①温泉を安定供給する

為の課題は何か。

②モニタリング調査内容と期間はいつまで。

③新たな場所への掘削準備はどうかを伺う。

答弁 ①空吹2号井も年々出湯量が減り、高原分湯槽の加温ボイラーを稼働している。供給に最善を尽くしている。②源泉の温度、湯量は月1回、主要成分10項目の分析は年2回実施する。ガス分析、飲料分析は年1回。今年度は1月から3月まで温度・湯量3回、主要成分分析1回という実績で進めていきたい。

③温泉法があり掘削は困難だが、乳頭地区以外でも有力な源泉があれば出来るだけ早く掘削する必要があると認識している。

（熊谷一夫記）

一般質問



・財政力指数から見た 仙北市財政の現況と 今後

議員 藤原助一 翠巒会

質問 本市の財政状況は、財政力指数から見た場合、年々悪化していると思われる。将来について財政破綻の不安はないか。

答弁 財政力指数はだんだん低下している。大規模な工場等がない地方の小都市では、全国的に同じ傾向にある。義務的経費の抑制、公債費の減少により改善されると思っている。早期健全化基準では年々改善されている。今後も健全財政に最大の配

慮をして市政運営にあたりたい。

質問 監査機能の強化について最近、各地方公共団体の財務に関する不正事件が話題になり、監査機能を問う声もある。これまでの監査においては、地方自治法が期待する十分な監査と言えるのか。

答弁 (代表監査委員 戸澤正隆) 監査の指摘事項が改善されているかと受け止めて答弁する。監査は、決算・定期・財政経常健全化審査・工事・財政援助団体などの監査のほか、毎月の現金出納検査を行っている。指摘事項は、次の監査時までには是正措置を求め、法令等の解釈や事務処理においては、一定の効果を上げていくと認識している。収入未済の改善や滞納処分の債権管理に関しては、社会情勢の変化などの外部要因や財政事情などにより、一定の時間を要すると考える。事務事業にあたっては、全ての部門において、コスト意識を持つてもらいたい。今後も、監査のための監査に終始することなく、市民目線での監査を意識したい。

国政選挙の投票率の向上策について

質問 市議会議員選や市長選のように、市民に身近な選挙ほど投票率が高い。一方、参議院議員などの国政の選挙では、極端に低い投票率となっている。総体的な投票率の向上対策は。本市の投票率は、県内ではどれほどの水準か。

答弁 (選挙管理委員会委員長 佐々木昭雄) 地域と密接な市長選や市議会議員選挙では、投票率が80%前後と有権者の関心度も高い。国政選挙では低調傾向であり、一昨年の衆議院議員総選挙の投票率は約61%と県内25市町村中で第7位、13市中では2位である。国政選挙の投票率の低迷は全国的な傾向であるが、仙北市の実情に合った投票率の向上策に努めたい。

教育委員会の諸問題

質問 教育委員会の会議録の公開対応は。各小中学校での不登校の現状は。いじめや校内暴力、教師による体罰などの実態や対応は。

答弁 会議は教育委員会が原則であり、平成25年度からは概要をホームページで公開

している。不登校は1月末日現在で小学校3名、中学校9名で計12名と年々減少傾向にある。いじめについては、一時的な悪口などの軽微な事案として本年度は小学校4件、中学校6件の計10件が報告されている。いずれも、早期対応により、保護者を含めた当事者間の謝罪や反省、相互

理解が得られ重大化には至っていない。体罰事案の報告は皆無である。児童生徒へのアンケート調査やスクールカウンセラー、面談などを通じて、学校と家庭と教委との連携により、今後とも気の緩みのない取り組みを継続させたい。

(稲田修記)



教育委員会会議録の公開様子

一般質問



・ふるさと納税について

民政会議 狐崎捷琅 議員

ふるさと納税について
 テレビで放映された
質問 里、雑誌等でも紹介され、ふるさと納税については関心のある方も多いと思う。これは、仮にある他市町村の方が自分の所得税や住民税4万円をふるさと仙北市に寄付し、さらに仙北市発行の領収書を持って確定申告をすると2000円の手数料を差し引いた3万8千円が税金控除になるといふシステムである。

仙北市は、その方に感謝の意を込めて仙北市の特産品を贈るといふシステムでそのことによって仙北市の業者も助かるし、寄付した方も喜ぶし仙北市の財政面でも助かる。この財政難の仙北市でもぜひ取り組んでどうか。

答弁 県内24市町村で7市町村が特産品などのお返しを贈呈を行っている。一方、総務省からは、こうした取組みが過熱にならないようにという指導もされている。大好きな仙北市に何らかの貢献をしたいという思いを大切にしたいと考えている。具体的には、市の広報を1年間無料で交付するとか行事や近況が分かるような状況提供するか決め細かい取組みが何より大切と思う。

質問 過去3年間仙北市のふるさと納税の件数と金額を教えてください。

我が仙北市へのふるさと納税は段々少なくなっている。ふるさと納税は必ずしもふるさとでなくてもこの自治体に寄付してもいいというシステムなので市への税金が他へ流れることもあるので流れる以上に入ってくる工夫が必要でないか。秋田県人は宣伝が下手だと内館牧子さんも言っている。市長の答弁を聞いていささかびっくりしている、今後検討してほしいと思う。

答弁 平成23年11件で383万円、24年13件で223万円。25年18件で93万5千円である。

カヌーコースの再建に本市の積極的取組みを
質問 ソチオリンピックの感動の連続、スポーツとはこんなにも人間を元気にさせるものかとあらためて感じた方も多いと思う。ところで、国で作った生保内川と玉川の合流地点に作られた公認カヌーコースが先の集中豪雨で流された。当市に居住し、玉川でオリンピック選手を育てたロンドンオリンピックの男女の総監督、馬場昭江さんの落胆は計り知れないものがあったと聞いている。幸い、仙北市議会や秋田県議会で再建の請願が採択され、県では前向きにカヌーコース再建に進んでいるようである。ただ、心配なことは、同じ場所に作るとまた、コースが流されないか心配である。最良の流域コースは水の調整ができる温泉ゆぼの付近だそうだが県ではこの場所に難色を示している。川の中に工作物は作られないというの理由がそうだが、前のコースも川の中に建設されているし、青森の西目屋コースや富山県の八潮市のコースも川の中に作られている。

要は、自治体で如何に粘り強く要望していくかと言うことだと思いがどうか。また、広久内の橋付近にコースができると川下りなど観光面でも



カヌーコースの再建に（広久内橋付近）

大きなメリットがある。近くにホテルがあるためオリンピックの練習地として世界から選手を呼び込めると思うかどうか。

答弁 事業主体が仙北市でなく県なので県へ積極的に要望していきたいと考えている。川下りの構想や国際的観点から大切なコースと想っているので関係方面と一緒に是非取り組んでいきたい。

クリオンプールについて
質問 クリオンプール調査費の予算もつき、いよいよプールが再開出来ると期待していたが当初予算にはもられていない。サッカーくじの助成についても検討したのか。

どうして予算からカットされたか経緯を説明してほしい。

答弁 (教育長) プールの改修費がかかる。サッカーくじの助成についてもクリアしなければならぬ問題が残っている。今後、皆さんの色々な英知を集めながらプールは必ず作るように頑張っていくのでご理解を賜りたい。

(阿部則比古記)

一般質問

- ・子ども議会を市政に活かすために
- ・「文化の殿堂」市民会館の今後について



仁政クラブ 田口寿宜 議員

子ども議会を市政に活かすために

1月9日に開催された子ども議会において、質問された事柄3点について、今後どのように具現化していくのか伺う。

①東京オリンピックピックや2018年韓国ピョンチャンの冬季オリンピックの際、選手の合宿所として仙北市を活用する方法はないか。また損壊した生保内カヌーコースが修復できれば国内外チームの合宿誘致は可能であると考えられるかどうか。

②合宿誘致が成功した場合やモーグル国内及び国際大会において、もしもの場合の救急体制は田沢湖病院で可能か。
③通学路の歩道の除雪体制は万全か。官民一体となって一斉除雪デーを設ける意向はないか。

答弁（教育長） ①について：2018年ピョンチャン冬季五輪については、県と共に韓国、中国台湾に対し、県営田沢湖スキー場の良さをアピールし積極的に仙北市を売り込みたい。全日本チームの合宿所としても最敵の環境にあると思う。カヌーコースの復興の救済は県に強く働きかけ、競技のオリンピック代表選手の強化合宿の誘致やプレ大会の開催を日本カヌー協会に呼びかけていきたい。

答弁（教育長） ②について：モーグルワールドカップ大会期間中は、市が要請して全日本スキー連盟から医師が派遣される予定である。陸上自衛隊からは救急車両などの協力がある。ドクターヘリの要請もおこなう。本市の医療機関、田沢湖病院や角館病院の協力も得ながら安心安全な大会を目指したい。

答弁（市長） ③について：夜間の通常の除雪で市が

管理する主要幹線道路を主体としてバス路線、通勤・通学路の除雪を優先している。一斉除雪作業については、多くの意味合いがあると認識している。子どもたちは、地域住民の協働作業体験、社会貢献に対する意識の醸成など除排雪作業から学ぶことができ。通学路の危険箇所除雪については、町内会、集落会、学校、PTAの皆さんと話し合う場面をもちたい。

「文化の殿堂」市民会館の今後について

質問 文化は人によって生み出される。人によって生み出された多様な文化をどのようにして「文化の殿堂」市民会館で活かしていくのか。文化に対する市のビジョンは。

答弁 芸術文化作業、音楽、美術、映像等の育成をしたいと思っている。次世代育成で累代にわたる文化力、一方で新しい文化と芸術を発信できる市民力を育成したい。人の育成をしたいと思います。文化は一人一人の生活を、人生を豊かにするだけでなく、まちの姿や産業に多大な影響を及ぼす。田沢湖芸術村とも連携しアートディレ

クターの育成など人材育成にも意を配しながら仙北市を国際観光都市に成長させたい夢を描いている。

質問 市民会館の活用が十分にされていないのではないかと。

答弁 2つ考えられる。一つは財源確保に行動。行為が積極的でない。二つ目は、文化を担う、文化創造を担う、もしくは継承していくという市民の方々の文化活動に対する取り組みのエネルギーが拡散している可能性がある。

4月以降事業移転室を設置し民間への事務事業移転を進めたい。民間の方々が自由闊達な活動の拠点として、使

勝手が良くて使いやすいことが重要と考える。

答弁（教育長） 芸能面では、民俗芸能、民謡をきちんとした形で継承し保存して、地域文化を発表、発展させていく場を市民会館が担っている。文化の殿堂と想っている。生保内節をはじめ民俗芸能の発表だけでなく、ダンスや歌等の発表の場としても、もつと活用して文化のレベルを上げたい。

交流人口と定住人口の増加策について

質問 祭りやイベントの多い本市の特性を生かした交流人口の増加策について伺う。

答弁 祭りの目的や役割を認識して継承し観光的な部分は観光客にも楽しんでもらいたい。

質問 若い世代は、人口減少に危機感を募らせている。定住人口増加策を伺いたい。

答弁 現在強力に進めている雇用場の創出、産業振興政策は最善の策と思っている。また、災害を防ぐまちづくり体制をつくるのが大事と考える。

（平岡裕子記）



より良い利活用が望まれる市民会館

一般質問



・本市景気回復の「桜祭り」について

侍志の会 八柳良太郎 議員

答弁 「桜祭り」には140万人の観光客に来ていただいているが、その経済効果費用対効果については私どもの計算式があるので後ほど議員に提出したいと思う。

100人キャンペーンについても同様である。TICについては現状では300万円ぐらいの売りあげがあったが職員の人件費を考えると胸を張れる状況ではない。

桜祭り屋台の費用対効果についても後ほどまでに精査出来ると思っている。

質問 観光客に商品を買ったための商品について

質問 観光客に商品を買って頂くためには様々なサービスが今後も考えられる。市長は、観光客に対するクーポン券はよくてプレミアム商品券は交付税を使ってはいけないと考えているようにだがおかしくないか。県外人に対するクーポン券配布も直接であれ間接であれ、県外の人に税金をあげたことにならないか。

答弁 そこに居住をしていない方々になるという考え方が今一つ整理がつかない。

い。仙北市にそれを許容する財源あるのであれば交付税の削減につながる可能性のあることを心配している。

質問 観光イベントの検証について

答弁 仙北市が将来、東北の観光拠点を目指すならイベントをやった場合でも、新聞に載ったからそれで良いのではなく、その効果について常に検証していくことが大切でないか。

答弁 公約に対する検証は検証委員会の方々が行っているわけであるが、公費を使ってその事業を行ったときのその効果を何と見るかというところが多分私どもの行政の中で欠落していた部分ではないかと思っている。今後、この点を改めて検証していきたい。

質問 「観光を生かしたまちづくり」という基本理念について市民に周知徹底されているとは思えない。市全体でおもてなしが必要だと思

う。合併当時、観光を生かしたまちづくりという理念があったはずだが、市民の中には「あんまり関係ない」「観光では飯は食えない」と思っている方が多い事も事実だと思う。これは、非常に残念なこと

で合併の理念が交流都市を目指して言うことだったのではなさうである。「よくおざつてけだしな」というおもてなしの心が大切でないか。ひとつ市長が先頭にたって市民に呼び掛けていく必要があると思うがどうか。

議員が提唱した全市民挨拶運動は市民に多くの恩恵があることなのでぜひ取り組んでいくことをお約束する。

質問 お花見シーズンに駐車場が少ないと言われている。市民に駐車場の提供を呼び掛ける案はないか。

答弁 お花見シーズンは2200台程度と推計しているが、まだまだ不足だと思っている。今後検討したい。

質問 桜の管理費は予算がないからという話ではないか。松本内川の右岸の桜がテングス病のためと思うが絶滅寸前である。桜の保存管理のための基金を積み立てていく必要があるのではないか。

答弁 桜の管理費は予算がないからという話ではないか。松本内川の右岸の桜がテングス病のためと思うが絶滅寸前である。桜の保存管理のための基金を積み立てていく必要があるのではないか。

(狐崎捷瑠記)



観光客に「おもてなし」の心を